

2013.10.24

◎展覧会情報

露木宏

日本の装身具文化を学ぶ上で参考になる展覧会が開かれています。
2つご紹介します。

(1)「縁起もの 版画と絵画で楽しむ吉祥図像」

町田市立国際版画美術館で11月24日まで

<http://hanga-museum.jp/>

櫛や簪などの髪飾り、帯留などによく用いられる様々な吉祥文様の理解には
大変役立つ内容の展覧会です。

見に行く時間のない方はカタログだけでも取り寄せておくことを
おすすめします。

(2)「明治のころ モースが見た庶民の暮らし」

江戸東京博物館で12月8日まで

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>

明治初期の装身具を理解するためには「モースの見た日本」(小学館刊)に
出ているモース収集の髪飾りが重要な資料となります。

今回の展覧会には髪飾りの出品は少ないのですが、
それでも一見の価値はある展覧会です。

会場には、明治初期を体感できる生活の中のモノがいっぱいです。

※もうすぐ第4回研究会(Aグループ11月2日、Bグループ11月9日)ですが、
よろしくお願ひします。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com